

夏の日差しが厳しい中、子ども達は元気にプール遊びを楽しんでいます。そんな中、プールあそびで「動」、お茶のおけいこで「静」どちらも大切なぞうぐみさんの経験の時間ですね！！
建替えに伴う工事の中、今回は元職員室に仮お茶室を作り、おけいこをしました。意外にも落ち着いた雰囲気の中でできましたよ！！

*8月のお干菓子



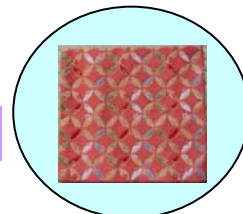
“大納言清澄(寒天菓子)”
“うちわ”

*8月のお花



- *サンジソウ
- *ノギク
- *オオキンケイギク

こぶくさ
古帛紗



きんらん どんす
金欄や緞子などの名物裂といわれる裂地で作られています。

今月は、お運びさん(亭主)のおけいこをしました。お客様を「もてなす」という経験をしました。帛紗(ふくさ)を腰につけ、古帛紗にお茶碗(実際にお茶が入っています。)を乗せて運ぶ練習をしました。



帛紗を
つけましょう。



お茶を
運びましょう。

お話をしながら・・・
飯田先生と



お菓子どうぞ・・・

お茶碗を回して
お茶どうぞ・・・



*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。
お茶を学ぶということはこの心を学ぶことです。

和…お互いどうしが仲良くすること。わかり合えることです。

敬…好き嫌いを超えて、相手を敬う心です。

清…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄めることを努力することです。

寂…心の中がどしんと落ち着いて、何物にも動じない心、いざと言う時に後で悔やんだり、失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。